

事業番号	04 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	文化芸術による心豊かな暮らしの実現推進事業	部局	県民文化部	課・室	文化政策課			
		実施期間	S44 ~	E-mail	bunka@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標								
総合的に展開する重点政策	3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興							

1 現状と課題

県民の心豊かな暮らしを実現するためには、文化芸術を担う人材の育成や活動支援、県民が文化芸術に親しみ、参画しやすい環境整備等を推進することが必要。

2 事業目的

長野県文化芸術振興計画に掲げる「文化力で、心豊かな人生100年時代を拓く～創造性あふれる信州を目指して～」の実現
 ・「文化芸術を楽しむ、創るひとづくり」、「文化芸術に広く親しむ社会づくり」、「文化芸術の力を活かした地域づくり」の3つを目指す姿とする。
 ・県立美術館は、県民の豊かさが実感できる暮らしの実現を目指し、唯一の県立美術館として、県の文化芸術の発信拠点としての機能を果たす。


3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①生涯にわたって文化芸術に親しみ、楽しむことができるようにするため、「長野県文化芸術振興計画」に基づく施策を展開に
基づく施策を展開

- 文化芸術施策推進体制整備（アーツカウンシルの設立）の推進
 文化芸術活動の中間支援機能を有したアーツカウンシルを設立し、地域における活動支援及び人材育成等を実施
- セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催

②心豊かな暮らしの実現を図るため、文化芸術活動の推進拠点として、県立文化施設の環境整備や適正な管理運営を行う

- 県立文化施設（文化会館、創造館、美術館）の指定管理
 県立美術館の本格稼働による集客力のある展覧会や誰もが楽しめるプログラム等の実施



県立美術館

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	文化芸術活動に参加した人の割合	%	44.8	76.3	↗	80.5	↗	72.5	達成	優れた文化芸術の鑑賞機会や発表の機会の提供により、心豊かな暮らしの実現を目指すため、成果指標に設定	
②	県立文化会館ホール利用率	%	33.5	48.8	↗	61.7	↗	70.0	未達成	県立文化施設の環境整備や適正な管理運営により、心豊かな暮らしの実現を目指すため、成果指標に設定	
③	県立美術館の来館者数	万人	—	78	—	88	↗	60	達成	県立文化施設の環境整備や適正な管理運営により、心豊かな暮らしの実現を目指すため、成果指標に設定	

5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	1,526,453	240,207	1,766,660	1,290,364	1,747,220	9.0
R3年度	0	1,660,452	171,848	1,832,300	1,282,083	1,805,223	9.0
R2年度	0	13,650,663	△ 140,239	13,510,424	2,344,476	13,469,241	9.0

事業番号	04 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	文化芸術による心豊かな暮らしの実現推進事業		部局	県民文化部	課・室	文化政策課

6 主な取組実績と成果

①生涯にわたって文化芸術に親しみ、楽しむことができるようにするため、「長野県文化芸術振興計画」に基づく施策を展開

- 文化芸術活動の中間支援を行う「信州アーツカウンシル」を設立し、21の文化芸術団体に助成を行うなど、197団体との連携・協働を推進した。
- 児童生徒の主体的な学びの機会を創出するため、学校での演劇的な手法を取り入れたプログラム展開として、4校でのプログラム実施、教員向けワークショップの開催2回、ファシリテーター連絡会議の開催等を行った。
- セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催を通じて、「子どものための音楽会」を6回開催する等により、県民が世界水準の音楽に触れる機会を創出した。

②心豊かな暮らしの実現を図るため、文化芸術活動の推進拠点として、県立文化施設の環境整備や適正な管理運営を行う

- 県立文化施設6館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、飯田創造館、佐久創造館、県立美術館）を指定管理により運営した。
- 県立美術館において、企画展6回、コレクション展を11回開催するとともに、移動展2回・交流展1回の開催や、スクールプログラム（学校団体鑑賞）123校の実施、障がいのある方のための特別鑑賞日の設定等、交流・学習に資するプログラムを実施した。



信州アーツカウンシル助成事業
JDS「つながるサーカスワークショップ」



「演劇による学び」推進事業ワークショップ



県立美術館移動展
「松川村でたどる信州のアート」

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	文化芸術活動に参加した人の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
文化芸術活動参加した人のうち、自ら創作・参加した割合は3割超である一方、鑑賞を行った割合は8割近くに達しており、コロナ禍において、オンライン配信等を活用した鑑賞が定着してきていることが増加要因として考えられる。							
指標②	県立文化会館ホール利用率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、文化行事等が実施されるようになったことに伴い、文化会館のホール利用率が回復した。							
指標③	県立美術館の来館者数	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	達成
集客力のある企画展の開催等に伴い来館者数が増加した。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・「信州アーツカウンシル」の中間支援機能を高めるため、連携・協働の拡大や認知度の向上を図っていくとともに、安定的な運営に向けた体制を構築していく必要がある。
- ・教育現場における文化芸術を活用した学びのプログラムを広げるには、演劇に限らず、様々な手法を活用する必要がある。
- ・県内唯一の広域的な機能を担う美術館として、県立美術館において、全ての県民が美術に触れる機会を創出していく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・信州アーツカウンシルの助成プログラムの拡充等を通じて、中間支援機能を高めていく。
- ・新たに絵画等の対話型鑑賞をプログラムに取り入れるなど、アートの手法を活用した学びを教育現場に広げるための取組を行う。
- ・県立美術館において、企画展やコレクション展に加え、地域へのアウトリーチや、誰にでも開かれた美術館を目指すインクルーシブ・プロジェクト等の交流・学習事業を充実させていく。

事業番号	04 01 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	文化芸術による心豊かな暮らしの実現推進事業		部局	県民文化部	課・室	文化政策課

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	芸術文化活動推進事業	288,050 千円	399,719 千円	372,299 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	次期「長野県文化芸術振興計画（仮称）」策定事業	直接	次期5か年（R5～R9）の「長野県文化芸術振興計画」の策定 「第2次長野県文化芸術振興計画」を策定	
2	文化芸術施策推進体制整備事業（アーツカウンシルの設立）	負担金	文化芸術活動の中間支援機能を有したアーツカウンシルを設立し、地域における活動支援及び人材育成等を実施 「信州アーツカウンシル」による助成件数21件	
3	「演劇による学び」推進事業	直接	演劇的な手法による「学び」を取り入れた学校でのプログラム展開や、ファシリテーター養成講座等を実施 演劇的な手法を活用した学びのプログラム実施校4校	
4	東京藝術大学連携事業	委託	東京藝術大学と連携してアートの力で創造性を育む取組を実施 アーティスト・イン・レジデンスの実施1地域（安曇野市）	
5	文化芸術情報発信力強化事業	委託	文化芸術情報発信サイトによる一元的な情報発信 特集記事の掲載12本	
6	若手芸術家支援・育成事業	直接 負担金	長野県ゆかりの若手芸術家を対象に、活動情報を発信するとともに、文化施設等での発表の場を提供する 若手芸術家の活動件数36件	
7	佐久創造館共同・連携制作支援事業	負担金	佐久創造館の指定管理者が実施する文化芸術活動を支援 小中高校生の合唱活動31回、能楽活動13回、演劇活動13回	
8	松本文化会館30周年事業	負担金	松本文化会館開館30周年を記念した公演を開催 記念事業2公演	
9	県民芸術祭の開催	直接 負担金	県民芸術祭に参加する文化芸術団体に対して事業費の一部を負担、県民コンサートの開催等 負担金支出34団体	
10	地域創造負担金	負担金	（一財）地域創造へ負担金を拠出 （一財）地域創造による県内市町村への助成7件	
11	信州アート・サンプラザプロジェクト推進事業	負担金 補助金	児童養護施設等へのアーティスト派遣による音楽公演の開催及び入所児童等を県内で開催される音楽公演に招待 アーティスト派遣2施設、コンサート招待2施設	
12	セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催	負担金	県民に世界水準の音楽を提供するためセイジ・オザワ 松本フェスティバルを共催 「子どものための音楽会」開催6回	
13	県民文化会館・ウィーン楽友協会姉妹提携事業	負担金	ウィーンから演奏家を招へいし、演奏会・出前コンサート等を開催 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止	
14	伊那文化会館芸術鑑賞事業	負担金	南信地域の文化振興を図るため、オペラ公演を実施 公演1回	

15	山岳文化創生事業	負担金	信州の山岳文化創生会議による様々な山岳文化情報の発信 シンポジウムの開催1回
16	県立美術館展示品の委託制作事業	委託	県立美術館の交流スペースに展示する映像作品の制作 1作品制作
17	県立美術館広報用リーフレット等作成事業	直接	県立美術館を国内外にPRするリーフレットを作成 英語版リーフレット10,000部作成
18	文化振興基金の積立	直接	・文化振興基金の運用益の積立 ・文化振興基金の積み増し 積立額140,184千円

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	文化施設管理運営事業	13,181,191 千円	1,405,504 千円	1,374,921 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	文化施設指定管理料	指定管理	県立文化会館、県立美術館、創造館の管理運営 対象施設6館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、県立美術館、飯田創造館、佐久創造館）	
2	文化施設ESCO事業	直接	松本文化会館における省エネルギー対策等を実施 実施施設1館（松本文化会館）	
3	県立文化施設指定管理者選定会議の開催	直接	次期指定管理者を選定するための選定会議の開催 実施施設1館（飯田創造館）	
4	文化施設感染症予防事業	直接	文化施設における新型コロナウイルス感染防止対策の環境整備の実施 既存の物品等で対応したため事業実施せず	
5	長野県美術品収集に係る外部有識者からの意見聴取	直接	美術品の取得に関し、外部有識者から美術品の評価に関する事項について意見を聴取 意見聴取2回	
6	長野県立美術館協議会の開催	直接	美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるため、美術館協議会を開催 開催見送り	
7	文化施設改修事業	委託 直接	文化施設の改修工事の実施（財産活用課一括計上事業以外） ○ 県民文化会館：大ホール迫り装置等改修工事 ○ 伊那文化会館：LED照明改修工事設計 ○ 松本文化会館：LED照明改修工事設計 改修工事1か所・改修工事設計2か所実施	
8	佐久創造館除却工事	委託	佐久創造館の除却及び整地に係る設計業務 事業延期	
9	文化施設備品購入	直接	松本文化会館における備品（クセノンピンスポットライト）の購入 備品購入	
10	県立美術館の美術品取得	直接	県立美術館のコレクションの充実を図るため美術品を取得 美術品4作品を取得	